

技の肖像



スケールを使ってフレームに歪みがないかを確認する山本弦太さん

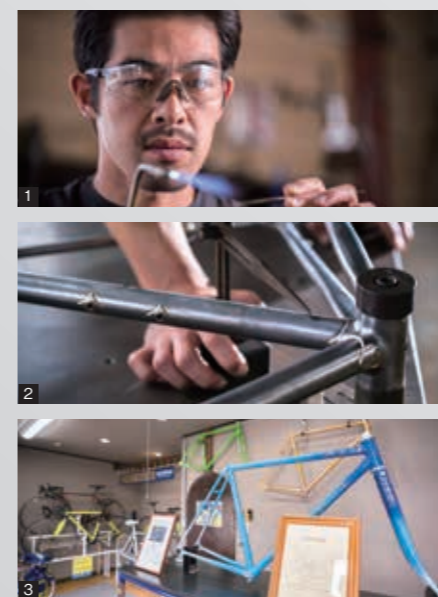
フレームビルダー

「フレームビルダー」は、自転車の骨組みをオーダーメイドで仕上げる職人である。ツーリング用や通勤用、競輪選手向けのレース用などの用途に合わせて、使用者の体格や力に対応した世界に一つだけのフレームを形にする。

まず使用者から用途を聞き、身体の一部を測定。これらをもとに作成した設計図に従い、材料のパイプを切断し、溶接してつなぎ合わせる。

「理想の形に落とし込むため、全ての工程に妥協は許されません」とフレームビルダーの山本弦太さんは語る。特にフレームの中心線に対する歪みを修正する「センター出し」が重要で、一つ一つの作業の後には必ず行っているという。

工房は、競輪選手だった父親が現役引退後に立ち上げた。物心がついた時から自転



1. アセチレンガスの炎で「ロウ」と呼ばれる針金状の合金を溶かし、パイプを溶接（ロウづけ）する 2. 専用の器具を使ってフレームの平行を確かめる。0.5ミリ単位の精度で微調整を繰り返す 3. ギャラリーには、さまざまなフレームが展示されている。NJS（現公益財団法人 JKA）から認められた登録証が確かな技術を証明する

問い合わせ
山本製作所

仙台市太白区袋原 3-8-16
TEL : 022-241-8627
https://yamamoto-seisakusho.jp/



車競技の世界に触れていた山本さんは、社に出て初めてフレームビルダーの魅力に気づかされたという。

「自分の腕だけで勝負するフレームづくりに本気で打ち込みたいと思い立ち、気が付けば準備を進めていました」

それから技を磨くため、東京の現役ビルダーのもとへ何度も足を運んだ。こうして長い準備期間を経て父親の工房を引き継いだ。

山本さんは、競輪選手のフレーム製作を認めるNJS登録を東北で初めて、全国最年少で取得している。

「結果が全ての競輪の世界。それだけに選手からは厳しいオーダーが届きます。その期待に応え、良い成績を残す力になりました」と山本さん。プロの信頼を勝ち取るため、今日も静かに闘志を燃やす。

Report 技能士を育てる。

宮城県内の企業には、優れた技術を持つ多様な技能士が活躍する。宮城のものづくりを支える匠たちを、企業がどのように育て、技を伝えているのかを紹介する。

有限会社フラワード (仙台市)

1955年創業。仙台市内の3店舗でフラワーショップを運営する。「贈る人、贈られる人の気持ちを大切に……」をモットーに、フラワーギフトの販売、冠婚葬祭会場の装飾などを手掛ける。フラワーデザインスクールを開講するなど、花のある暮らしの普及にも取り組む。

花屋で働くスタッフには、フラワーアレンジメントの技術やセンスをはじめ、花や植物の知識、冠婚葬祭のマナーなど幅広い知識と技能が求められる。

有限会社フラワードの堀江信彰社長は、「スタッフには、いつも高みを目指してもらえような仕掛けをしていきたいと思っています。その一つが技能検定への挑戦です」と語る。同社では受検希望者に対し、実技試験の練習に使う花材や資材を提供し、有資格者が指導にあたっている。また、検定料の補助など手厚いサポートで後押しする。

さらに同社では、技能五輪や技能コンテストへの出場を積極的に奨励している。今年11月に沖縄で開催された技能五輪全国大会では、2人のスタッフが宮城県代表選手としてフラワー装飾職種の競技に参加した。

堀江社長は、「検定や大会のための勉強や練習は苦しいかもしれませんが、それら乗り越えて結果につなげることで、本人の成長と次の挑戦への気持ちにつながるはず。こうしたチャレンジ精神を先輩から後輩に継承し、スタッフ全員が一つのチームとなって支え合ってほしいですね」と話す。

技能五輪挑戦で、人材の育成を目指す

技能士 MEMO

フラワー装飾技能士

生花を中心とした花環、花束などの製作および会場装飾等の装飾などフラワー装飾に必要な知識や技術を持つことを証明する国家資格を有する者。

技能五輪 (全国大会)

青年技能者の技能レベルの日本一を競う競技大会。原則として毎年11月に開催され、隔年で技能五輪国際大会への派遣選手選考会を兼ねている。

企業情報

所在地：仙台市泉区虹の丘 4-2-9
TEL : 022-375-4411
http://www.flowered.jp/



事業内容：フラワーショップ・インターネット通販サイトの運営、フラワーギフト・フラワーデザインの企画・制作・販売、フラワーデザインスクールの運営など

技能士数：のべ12人(2018年11月現在)
技能職種：フラワー装飾



1 技能五輪の競技課題の一つ「フラワーディスプレイ」の練習をする2級フラワー装飾技能士の堂場麻生さん。大会ではこのほかに「花束」「ブライダルブーケ&ブートニア」の課題も行い、それぞれのデザインスケッチを描いた後、支給される花材や資材を使って制作する 2 1級技能士からアドバイスを受ける2級フラワー装飾技能士の渡部桃華さん(左) 3 代表取締役の堀江信彰さん。「与えられたチャンスを生かして、自信につなげてほしい」と話す